

地方議会活性化シンポジウム2013 パネルディスカッション

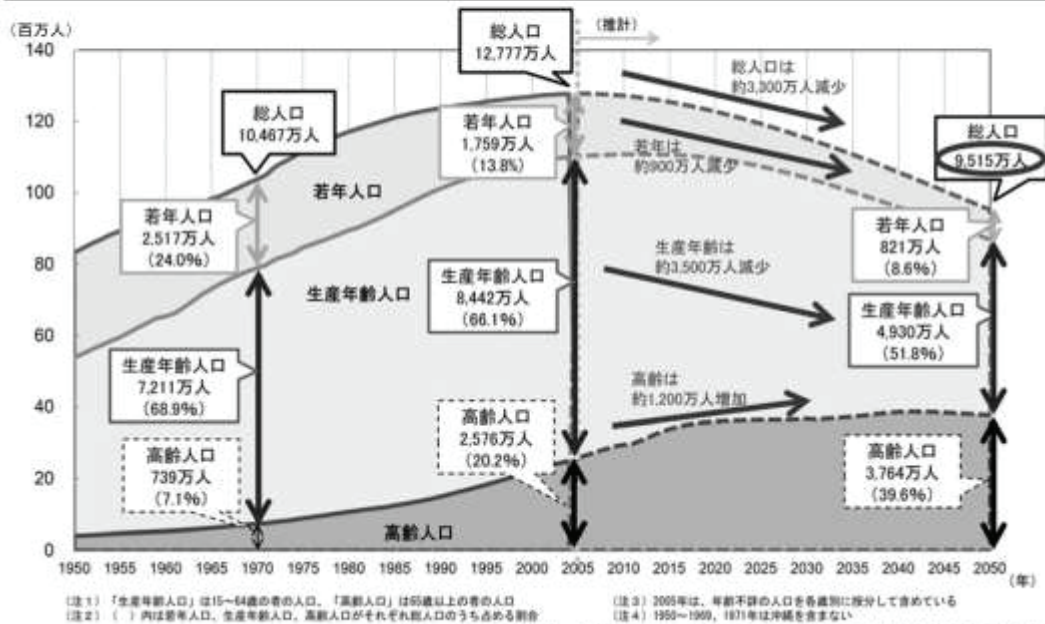
日本放送協会解説副委員長
城本 勝

分権時代に求められる 地方議会の役割とは何か

1. いま、なぜ地方議会なのか
2. 厳しさを増す議会を見る目
3. 議会改革の方向性

我が国における総人口の推移（年齢3区分別）

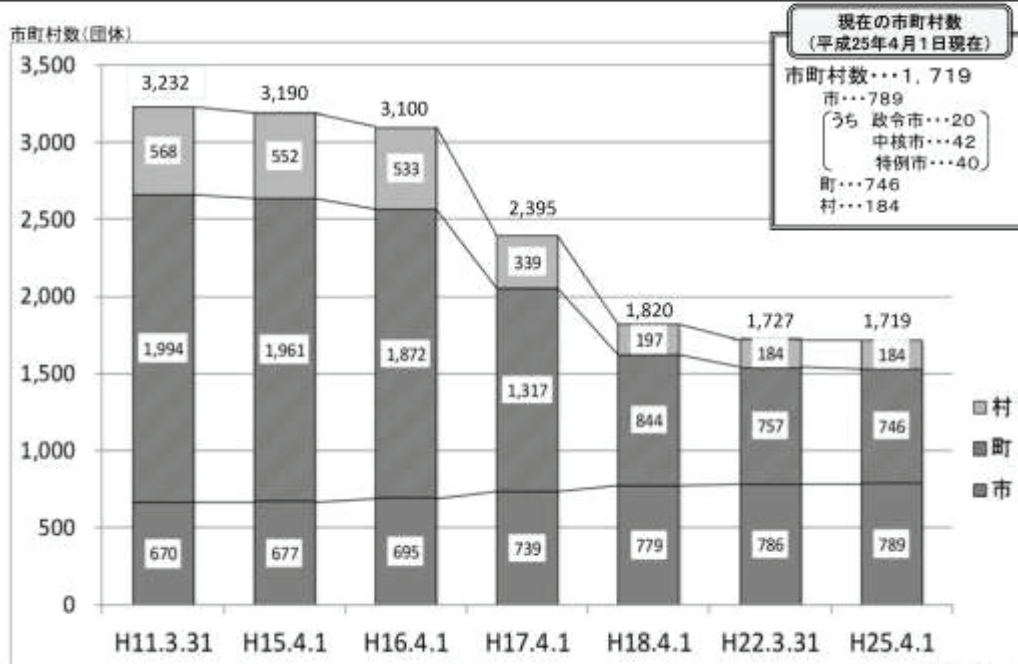
- 我が国の総人口は、2050年には9,515万人となり、約3,300万人（約25.5%）減少。
- 高齢人口が約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口は約3,500万人、若年人口は約900万人減少。その結果、高齢化率は約20%から約40%に上昇。



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日国土審議会政策部会長府展望委員会）2
 ※ 総務省作成資料

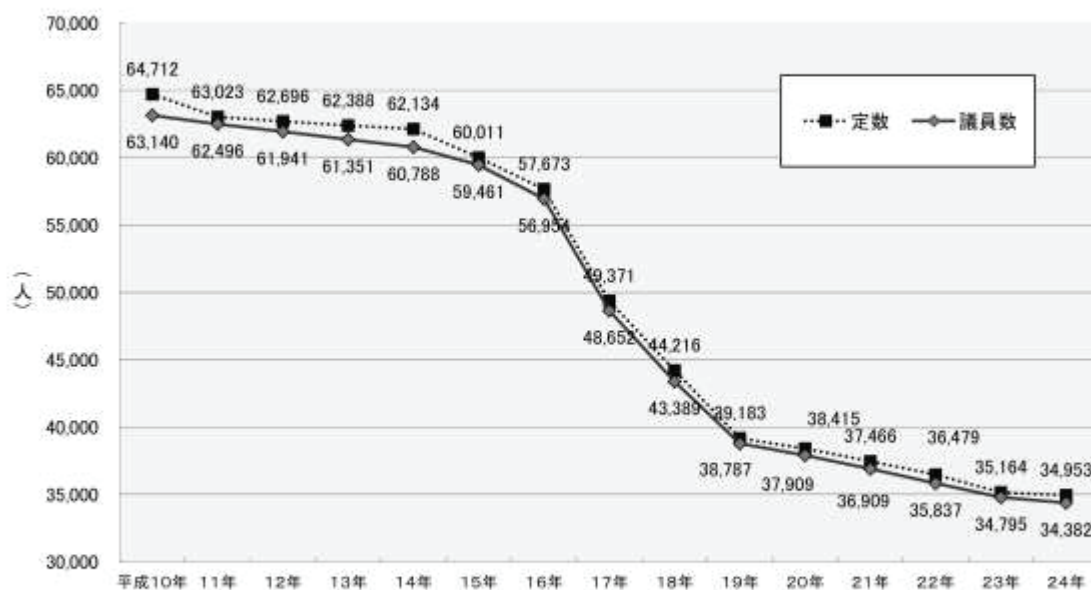
市町村数の推移

- 平成16年度・17年度に進んだ合併により市町村数が減少。



※総務省作成資料 3

地方議会議員数の変遷



出典：地方公共団体の議会の議員及び長の所属先別人員数（総務省）

注1：毎年12月31日現在の計数である。

注2：「定数」は、地方自治法第90条第1項の規定により条例で定める定数である。

※総務省作成資料 4

1. いま、なぜ地方議会なのか

将来の予測

- 少子高齢化で人口減少社会に突入
- グローバル化により地域社会の疲弊が進行
- 「利益の分配」から「不利益の分配」への転換

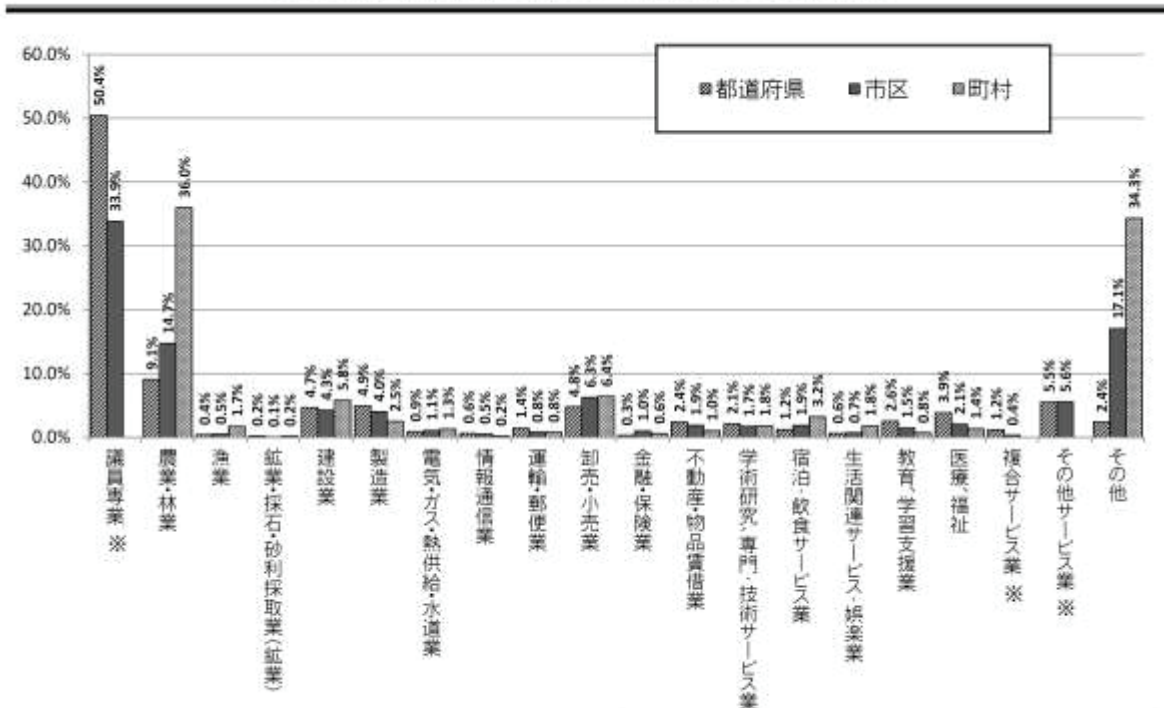


- 「情報公開」と「合意形成」＝「政治プロセス」が果たす役割が重要になる
- 地域の「代表」＝議会に対する期待が増す

分権時代に求められる 地方議会の役割とは何か

1. いま、なぜ地方議会なのか
2. 厳しさを増す議会を見る目
3. 議会改革の方向性

地方議会議員の概況（職業別の状況）



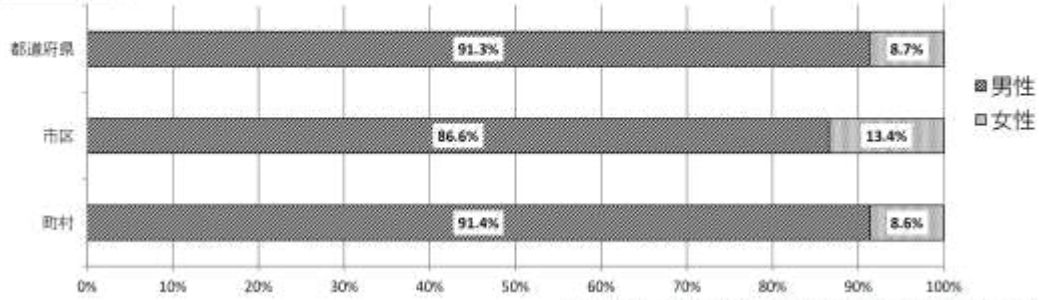
注1 都道府県のうち福島県、東京都、神奈川県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、大分県、宮崎県を除外している。

注2 「※」を付した項目は、「町村議会実態調査」において調査していない。

出典 全国都道府県議会議員職業別調査（平成23年7月1日現在、全国都道府県議会議長会）
市議会議員の属性に関する調査（平成24年8月1日現在、全国市議会議長会）
町村議会実態調査（平成24年7月1日、現在全国町村議会議長会）

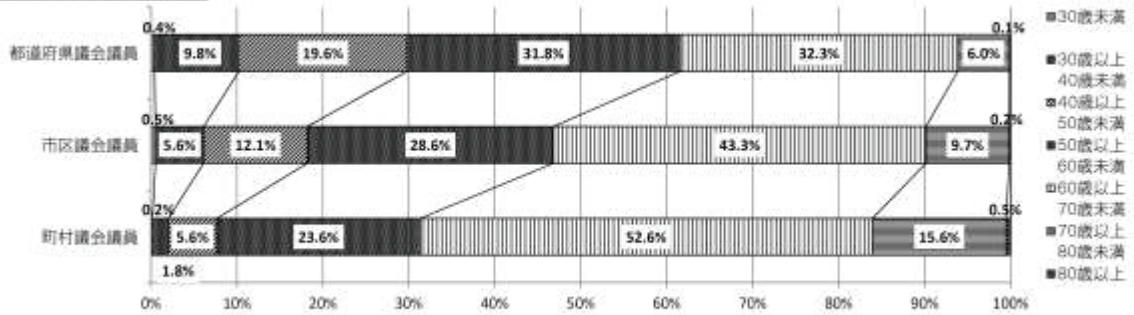
地方議会議員の概況（男女の比率、年齢別の状況）

○ 男女の比率



出典：地方公共団体の議会の議員及び長の所属党別個人内訳（平成24年12月31日現在、総務省）

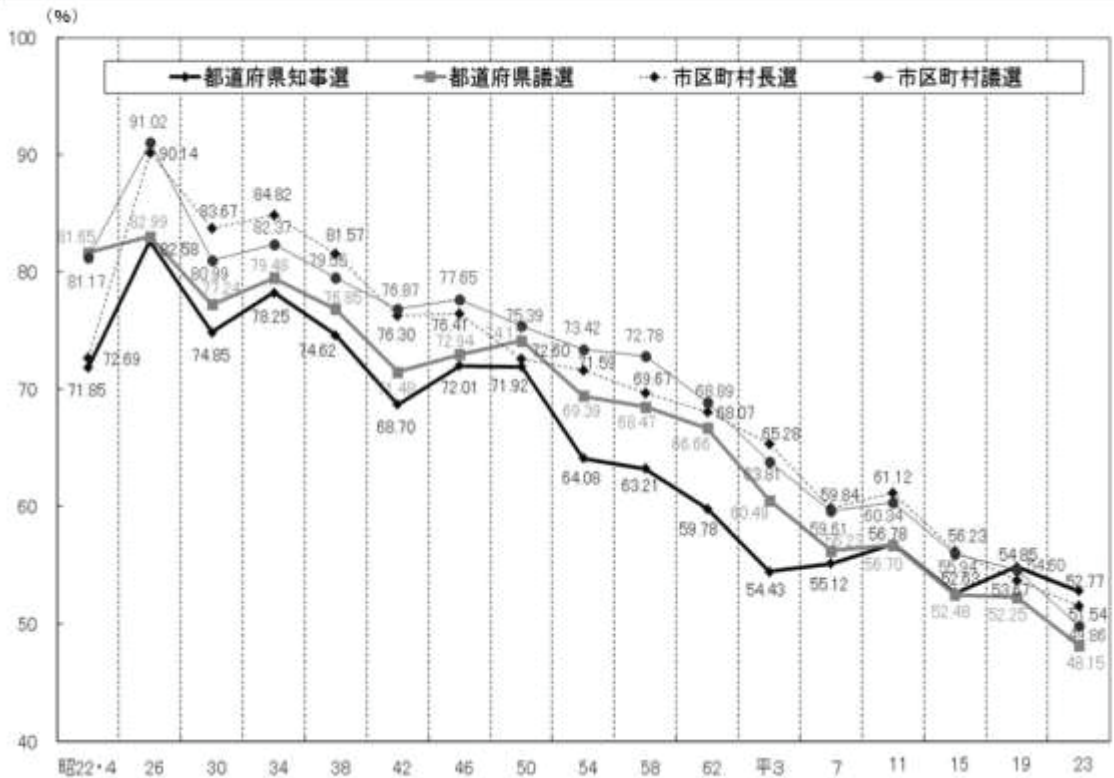
○ 年齢別の状況



出典：全国都道府県議会議員年齢別別（平成23年7月1日現在、全国都道府県議会議員会）
 市区議会議員の属性に関する部（平成24年6月1日現在、市議会議員会）
 町村議会議員別表（平成24年7月1日現在、全国町村議会議員会）

※総務省作成資料 8

統一地方選挙における投票率の推移



※総務省作成資料 9

2. 厳しさを増す議会を見る目

現 状

- 住民の関心は低く、話題は議員報酬、政務活動費、首長との対立等ばかり
 - ⇒ 地方議会の機能・役割に対する無理解・不信
 - ⇒ 議会を「身近に感じられない」ことが最大の要因
- 職業、男女比の構成と地域社会の住民構成との「ズレ」
- 議員数が減少し、投票率も低下傾向

課 題

このままでは早晚「議会不要論」も……。

分権時代に求められる 地方議会の役割とは何か

1. いま、なぜ地方議会なのか
2. 厳しさを増す議会を見る目
3. 議会改革の方向性

3. 議会改革の方向性

- 制度改革・権限配分(団体自治)重視の改革から利害調整、合意形成(住民自治)重視の改革へ
- 「質問型」の議会運営から「公開討論型」の議会運営へ
- 「監視型」議会から「政策提案型」議会へ